



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域の誇りである「宝探し活動による」地域活性化

真板 昭夫 (まいた あきお)

京都嵯峨芸術大学 芸術学部観光デザイン学科 教授



○登録者情報

所在地

京都市右京区

略歴

1975年4月～1981年3月 (財)政策科学研究所 主任研究員
1981年4月～2001年 (財)自然環境研究センター理事

1991年9月～現在 (株)未来政策研究所 同代表取締役
1998年4月 国立民族学博物館客員研究員 現在に至る
1999年～2001年 チャールズダーウィン研究所客員研究員
2001年4月～現在 京都嵯峨芸術大学芸術学部観光デザイン学科教授
同 観光デザイン研究センター所長／2001年7月東京大学農学博士号取得

- 1) 第23回「ワイルドライフパークー自然との触れ合いを目指してー」
1985年 国際造園会議日本大会記念公開設計競技最優秀賞受賞(社団法人 日本造園学会)
- 2) 日本造園学会「皆地いきものふれあいの里」基本構想、設計—1996年作品選集選定作品
- 3) 「ナショナルトラストエリアの観光利用に関する研究 —イギリス湖水地方での日本人観光客を題材として—」1997年 観光に関する学術研究論文第一席入選論文(財団法人アジア太平洋観光港流センター)
- 4) 「2000年度フィーザーのエコツーリズム開発に関する実践と研究」
国際環境賞2000受賞(ドイツツアーオペレーター協会)
- 5) 南大東島「島まるごとエコミュージアム館」展示企画、設計、デザイン
2002年日本ディスプレイデザイン協会—優秀賞受賞
- 6) 第3回日本観光研究学会 学会賞(観光著作賞)受賞!平成22年

著書・論文等

- 国際観光学を学ぶ人の為に 2003年12月20日 世界思想社 前田弘 他110名
- エコツーリズムの世紀へ 石森秀三、伊藤秀三、真板昭夫、他37名 平成11年5月 エコツーリズム推進協議会
- 循環型社会の先進空間「新しい日本を示唆する中山間地域」総合研究開機共編、農文協 刊平成12年6月発行
- 観光デザイン学の創造 桑田政美編 世界思想社 2006年11月
- 文化遺産マネジメントとツーリズムの持続的関係構築に関する研究「生態学的アプローチによる文化遺産の再生に関する研究—大覚寺大沢池を題材に」平成17年
- 大覚寺大沢池 景観修復プロジェクト — 古代と現代をむすぶ文化遺産 真板昭夫他10名 世界思想社 平成23年
- 宝探しから持続可能な地域づくりへ—日本型エコツーリズムとはなにか 学芸出版 真板昭夫、比田井和子、他1名共著平成22年10月

○ 地域の誇りである「宝探し活動による」地域活性化

取組の内容

二戸市では、1992年に、地域の誇りである「宝探し」作業を市民と行政から50人でなる委員会を結成して取り組みはじめ、以来、今日に至るまで20年の長きにわたって「宝さがしによるまちづくり」継続し、その取り組みの中から様々な地域活性化となる観光資源やブランド物産品を生み出してきました。またその過程で40以上にわたる数多くの市民活動団体を「のれん分け」と称して生み出し、地域活性化のランチ形成を行って来ています。

さらに、2011年からは、地元の農家と協力してやまぶどうを、滋賀県高島市のお酢の生産技術と組み合わせ「ヤマブドウ酢」ブランド商品開発を行っています。また沖縄県西表島の黒砂糖を二戸市のもつ飴作り技術をもちいて、黒砂糖あめを産品開発し震災地域に配布するエコツーリズム推進広域交流事業を展開しています。さらに2012年からは月一エコツーリズムを実施し、交流人口増加の促進事業を地元中心に進めるサポートを行っています。

二戸市のほか、沖縄県の西表島や南大東村、徳島県美郷村(現・吉野川市美郷)、下呂市、平戸市、高島市商工会女性部など、全国の幾多の自治体、団体等と「宝探し」をベースにした地域おこしを支援しています。

実績

地域の人々が、地域に対して、そこで暮らす自分たちに対して自信をもち、地域外の人に自慢できるようになっています。「なんにもない」「どこがよくてこの島にくるんだらうか」と言っていた人たちが、来訪者に対して積極的に地域自慢ができるようになりました。この自信をもとに、各地域においてエコツーリズム推進のための人材育成や組織整備、さらにプログラムや物産の開発に取り組んでいます。



工夫した点や苦労した点

市民総体をまきこみ、全市的なまちづくり活動として継続的に展開していくエネルギーの持続と、それを担保するしくみ。すなわち組織、計画、個別事業等が連動し、有機的な動きをつくりだしていくことです。二戸市では楽しく美しいまちづくり委員会、宝探しをもとに作成された「楽しく美しいまちづくり計画」、行政の事業の連携がなされたことによって、「まちづくり」を20年にわたり継続することが可能になったといえます。

ひとことPR

地域づくりの要諦は「続けること」にあります。長い年月の間には活動の低迷する時期もあるでしょう。しかし、どんなときでも地域づくりの旗を下ろすことなく、苦しくとも続けていくこと。そうした苦難を乗り越えた後に、地域づくりの活動は地域の土壌に染みこみ、地域の新たな文化となります。二戸市では「宝探し」が地域の文化になっているといっても過言ではありません。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
○	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

未来政策研究所	http://www.miraiken.co.jp/
真板昭夫	http://akio-maita.com

連絡先

メールアドレス	04984-maita[アットマーク]kyoto-saga.ac.jp	その他	075-864-7858
---------	-------------------------------------	-----	--------------

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る